

東大生が国際交流の魅力語る 遠野高校で事前説明会開催

8月に本市で初開催される「東京大イノベーションセミナー」の事前説明会は6月13日、遠野高校で開かれました。同プログラムは、同大と海外の有名大学の学生、遠野高の生徒が参加し、3泊4日の合宿を通じて遠野のまちづくりについて考えるもの。説明会には同校の1・2年生300人が参加し、同大の堀井秀之教授がプログラムや同

大の概要について説明したほか、東大生が学生生活や国際交流の魅力などについて語りました。
同大文学部3年の守崎美佳さんは「海外の学生との交流は、自分の視野を広げられるチャンス。普段気付かない遠野の魅力を見つけてほしい」と自身の経験を語り、プログラムをPR。同校2年の佐々木希世貴君は「現役生の

体験を聴き、学生生活や国際交流の魅力を知ることができた。大学で学びたいという気持ちにさらに強くなりました」と目を輝かせていました。
国際交流の魅力などについて語る東大生



国際交流の魅力などについて語る東大生

新人賞歌手の白澤みさきさん 新「遠野物語」の発売をPR



上/CDを手渡し白澤さん 左/同日、遠野馬の里で乗馬も体験しました

ミニライブ開催
白澤さんのミニライブを開催します。詳しくはP3のチラシで!



第54回日本レコード大賞「新人賞」などを受賞した大槻町出身の歌手白澤みさきさんは5月26日、とびあ庁舎を訪れ、新たに発売したCDをPRしました。
白澤さんの新曲は、あんべ光俊さんのヒット曲「遠野物語」を2人で歌い直したものだ。現在発売中の「イーハトーブの風〜Reborn〜」に収録されています。白澤さんはCDを

本田市長に手渡し、「遠野の魅力がにじみ出るような美しい曲をあんべさんと一緒に歌うことができたと光栄。新しくなった『遠野物語』をたくさんの人に聞いてもらいたいです」とPR。本田市長は「白澤さんの活躍は、被災地をはじめ岩手全体を元気づけてくれる。私も市民も、白澤さんの今後に期待しています」と激励しました。

広域で消防救助技術を高める 沿岸・中部地区錬成会開催

沿岸・中部地区の消防隊員が合同で消防救助技術を磨き合う錬成会は6月17日、市総合防災センターで開催されました。
県消防学校で開催される県大会へ向け、広域で技術を高め合うことを目的に開催。昨年は遠野、釜石・大槌、大船渡、陸前高田の4消防本部で合同開催しましたが、本年から花巻、北上地区も参加。36

チーム82人の消防隊員が集結し、ロープ渡過やほふく救出はしご登はんなど6種目を行いました。参加者は、本番さながらの訓練を展開。救助技術の早さや正確性に磨きをかけていました。小田田光行遠野消防署長は「合同訓練は技術の向上だけでなく、隊員同士の絆を強める効果もある。今後も継続して実施していきたい」と抱負を語りました。



日ごろの訓練の成果を披露する消防隊員ら(上/ロープ渡過 右/2人で息を合わせて行うロープ応用登はん)

小・中が連携し学力向上を目指す 教職員らが授業交流会実施

市内小・中学校の教職員らが連携して授業力を磨く交流会(遠野市教育研究所主催)は5月30日・6月2日の2日間、市内3中学校と青笹小学校で開催されました。
市立学校の学力向上の取り組みとして初開催され、2日間で約200人の教職員が参加。交流会では、小学6年と中学1年などを対象とした公開授業を行い、その授業内容

をもとにより良い授業のあり方について意見交換しました。参加者は、小・中学校の学習内容の共通性を改めて認識し、連携した指導が児童生徒の学力向上につながることを確認しました。藤澤俊明教育長は「学力向上は、分かりやすい授業づくりがカギ。小・中学校の連携を深め、このような研修の場を積極的に設けていきたい」と話しました。

高齢者世帯が危ない！ 見守り活動の結果報告

活動内容と結果

市は本年1～3月の約3カ月間、市内の75歳以上の独り暮らしの高齢者で、同意が得られた584人を対象に定期的な見守り活動を実施しました。市シルバー人材センターに委託して電話での活動を実施したほか、調理宅配ボランティア「ほのぼの会」の協力を頂きながら訪問活動も展開。民生・児童委員や関係機関と連携しながら対応した結果、消費生活や日常生活に関する相談を525件受け付ました。

相談電話実施件数 **3,632** 件
相談受付件数 **525** 件
被害件数 **3** 件

消費者庁のモデル事業として、本年1～3月にかけて実施した市内の高齢者の見守り活動事業の結果などについてお知らせします。

◎問い合わせ 市長寿課(☎62-5111内線15)

高齢者が狙われています！

寄せられた相談の中には消費生活に関するものが199件あり、商品の送り付けや金融商品の勧誘など、詐欺と思われるものがほとんどでした。被害に遭ったケースも3件あり、独り暮らしの高齢者が消費犯罪に狙われている実態が浮き彫りとなりました。

「おかしいな？」と思ったら、まず相談を！

身に覚えのない商品の送り付けや、儲け話、お金を求める電話のほとんどは詐欺です。「おかしいな？」と思ったら、お金は支払わず、市消費生活相談窓口(☎62-6318)まで相談してください。

遠野まつりと八幡宮の例祭が 6年ぶりに合同開催決定！

日本のふるさと遠野まつり実行委員会(会長・本田敏秋市長)は6月2日、市まちおこしセンターで臨時会議を開き、今年から2日間の日程で遠野郷八幡宮(多田頼申宮司)の例祭と合同開催する方針を決定しました。
遠野まつりは、同神社の例祭日である9月15日(敬老の日)に合同開催していましたが、平成15年の祝日法の改正により、市民らが参加しやすいように週末に開催したい実行委員会側と、例祭日である9月15日に開催したい同神社側と意見が分かれ、分離開催してききました。合同開催を望



遠野郷八幡宮でのやぶさめや馬場めぐりが遠野まつりに復活します！

む市民の強い要望を受け、実行委員会は同まつり準備委員会の佐々木國允委員長らを中心に協議。やぶさめ奉納や馬場めぐりなどの文化を後世にしっかりと継承していききたいとする多田宮司の思いもあり、両者が歩み寄る形で合同開催に至りました。
合同開催は休日が重なった平成20年以來6年ぶり。本年は9月20・21日に開催します。同実行委員会は今後、内容やスケジュールを同神社側と協議していく予定。本田市長は「同神社の協力に感謝している。一緒に素晴らしい祭りを作り上げていきたい」と決意を新たにしました。



今年の遠野まつりは9月20・21日に開催。詳細は現在協議中です